

## ① 題：「迫害 vs 神の愛」(33 分)

210731

説教者 : 花田憲彦  
聖書朗読 : 使徒行伝 4 章 1 ~ 4 節  
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『真の働き人』より

「今、光の中と同様に闇の中でも前進し、失望、落胆に対しても勇ましく立ち向かって行く働き人が必要である。そのような人は、主が豊かな実りをもたらしてくださることを信じて、涙ながらに、希望を持って忍耐しながら、水際に種をまくのである。そのような目標に向かって、神は、大胆で信仰と希望を持ち、忍耐強い人を招いておられる。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 324 番  
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 436 番

## ② 題：「しかし、教会では祈りがささげられていた」(26 分)

211127

説教者 : 伊藤 滋  
聖書朗読 : 使徒言行録 12 章 1 ~ 5 節  
瞑想の言葉 : 榎本保郎『新約聖書一日一章』218 頁

「『教会では、彼のために熱心な祈りが神にささげられた』。教会は、ただ神に祈り求めていく以外に道はなかった。しかし、日本語聖書では出ていないが、『教会では』の前に『しかし』とある。権力者がペテロを捕えた。それに対して何も抵抗できない。普通ならもうだめだとあきらめる。『しかし』教会はあきらめなかったというのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 14 番  
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 349 番

## ③ 題：「私は主を得た」(44 分)

220423

説教者 : 稲田 豊  
聖書朗読 : 創世記 4 章 1 節  
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『人類のあけぼの』上巻 21 頁

「救い主の来臨はエデンで予告された。アダムとエバが初めてこの約束をきいた時、彼らはそれがすぐに成就されるものと期待した。彼らは最初に生れたむすこをよろこんで歓迎し、その子が救い主であるようにと望んだ。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 258 番  
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 56 番

### ◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)  
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。